

## 陳情第3号

### 「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書採択の陳情

#### 【陳情趣旨・理由】

今、学校現場では、小・中・高を合わせると 41 万人を超える不登校の子どもの数（2023 年度）が文部科学省調査で明らかになっています。とりわけ小・中学校では 11 年連続で増加し、過去最多となっています。また、貧困・いじめ・教職員の未配置など解決すべき課題が山積しており、長時間労働の実態も改善されず、子どもたちのゆたかな学びを保障するための教材研究や授業準備の時間を十分に確保することが困難な状況となっています。

学習指導要領の改訂は、子どもたちのゆたかな学びの保障や、教職員の「働き方改革」に大きくかかわります。「カリキュラム・オーバーロード」の状態を改善することが喫緊の課題です。このため、次期学習指導要領の内容を精選し、標準授業時数を削減することが強く求められます。

つきましては、下記事項が実現されるよう、地方自治法第 99 条の規定にもとづき国の関係機関への意見書提出を陳情いたします。

#### 記

1. 子どもたちのゆたかな学びを保障するため、「カリキュラム・オーバーロード」の早期改善にむけて、学習指導要領の内容を精選し、標準授業時数を削減すること。

令和 7 年 5 月 29 日

陳情者 住所 いちき串木野市曙町 138 番地

氏名 松目 洋人